

令和2年第4回港区議会定例会で登壇し、区長・教育長に質問しました。

自民党議員団代表質問 一部抜粋

新型コロナ対策の施策見直しと新たな取り組みを

新型コロナウイルス感染症の影響は未だ多くの区民に幅広く影響を及ぼしています。区民がより安心して生活できるよう、引き続き手立てを講じるべきと自民党議員団は声をあげてきました。これまでの区のスタンスは「必要な方に必要な支援を」とされていましたが、今回初めて区長から「新たな視点」というキーワードが出てきたことから、今後の速やかな取り組みに注視していきます。

Q: これまで実施してきた区民のための施策をどのように、どのような視点で見直し、今後必要となる新たな取り組みを速やかに推進していくのか。また、幅広い区民の支援に繋がる更なる取り組みを含め、区長の見解を伺う。

区長 → 感染症拡大防止の取り組みのほか、子育て・福祉・産業の各分野の施策を見直すとともに、新たな視点に立った支援策を検討・実施する。



令和2年12月 港区議会本会議場にて

区内共通商品券給付と発行支援

最大発行額10億円というプレミアム付き商品券の発行支援のほか、福祉という面もある非課税世帯への商品券給付事業を実施しました。区が行う地域経済活性化対策は、効果を追求する必要があると考えています。

Q: 商品券による経済効果をどのように認識しているか。

区長 → 港区政策創造研究所の分析では、非課税世帯への給付事業において約1.4倍の経済効果を見込んでいる。



商品券は期限内に使用されることで、地域経済に重要できます。給付ではなく購入していただくプレミアム付き商品券の場合、使う層も使われる対象も異なることから、期待される効果はより大きく、幅広い経済対策となると信じています。

3歳児健康診査の運用改善を



今年度、みなと保健所では3歳児健診など、完全予約で行われています。9月からオンライン予約が可能となり、空き状況の確認や変更がいつでもできるようになり、保護者にとっても保健所にとっても負担が少し減りました。

Q: ずっと先まで健診実施の日程は決定している中、現在、電話やオンラインでの健診予約期間は1ヶ月まで。利便性を考慮するのであれば、もう少し延ばしていただきたい。

区長 → 健診の運用状況を見極めながら、保護者のスケジュールが立てやすくなるよう、2ヶ月先まで予約可能にする。

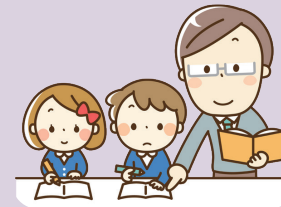


区のイベント参加時の申込み方法の改善を求めました。コロナ禍でインターネットを介したコミュニケーションが広がり、港区でもオンライン開催のイベントも始まっています。現在、区が開催するイベントに参加する際、申込みは「みなとコール」にて電話予約をするのがほとんどであり、オンライン視聴参加も電話での申込みが必要です。

区有施設やスポーツ施設の利用申込、保健所実施の健診予約など、区の中でも担当部門によって独自の異なるシステムとなっており、ある程度統一化をしつつ、速やかなオンライン申込みの対応や区民の目線に沿った対応をお願いしました。

RPA (ロボティック・プロセス・オートメーション) とは、人間がコンピューター上でやっている定型作業をロボット (AI) で自動化することと言い、業務効率化の目的で多くの行政が導入を進めています。業務自動化ツールとも呼ばれる RPA を港区では3年ほど前から本格導入をし、保育所入所選考業務や要介護認定審査の結果入力などで重宝されています。

機械化による自動処理によって生み出された時間がどのように使われているのか、これまで誰も取り上げてこなかった点を質問したところ、新たな行政課題に対応できる職場環境に繋がったこと、また職員の業務負担軽減に繋がって超過勤務の抑制に効果があったと答弁がありました。区職員を見ている限り答弁に納得はできていませんが、更なる負担軽減や人材育成のための時間が増えていくことを期待したいと思います。



教科担任制度の導入について最初に質問したのが2019年2月の定例会でした。公立小学校教員の負担軽減と、授業に専念できる環境を整えることで児童にとってもより質の高い授業が受けられるのではと考えていました。港区では一部の学校において学級担任同士が互いのクラスで授業をしたり、小中一貫校では中学校教員が小学校で授業をしたりしていますが、すべての学校で行われているわけではありません。

昨年文部科学省が令和4年を目処に公立小学校高学年における強化担任制度の導入指針を発表したことから、これを機会に港区でも今後積極的に検討を進めていただくことを求めました。区独自で区費講師や中学校教員の幅広い活用を推進し、より多くの小学校高学年での教科担任制の導入を支援していくとのことです。

高輪築堤は、明治5年(1872年)に国内初の鉄道が開業した際に、海の上に線路を敷くために築かれた石垣からなる鉄道構造物です。現在JR線が通っている東側は江戸時代は海でした。新橋から横浜までの約29kmの鉄道建設が明治2年(1869年)決定し、様々な事情から本芝~高輪海岸~品川間の約2.7km区間は海上に鉄道を通すこととなり、そのための築堤を築いたとされています。

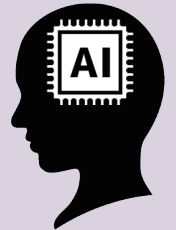
錦絵や記録などで築堤の存在は解っていましたが、明治から昭和にかけての周辺埋め立ての際に取り壊されたと考えられていたところ、品川駅改良工事や高輪ゲートウェイ駅新設による大規模工事の一部の石垣が発見されました(2019年4月)。

今後保存を含めて調査が続くとされています。歴史的にも貴重なものであることから、可能な限りの保存がされるよう願っています。

※ 公職選挙法により、区議会議員の年賀状等の郵送は禁止されています。区政報告書をもって皆様への年頭のご挨拶とさせていただきます。

港区議会議員 小倉りえこ

- ◆港区麻布十番出身 港区立東町小学校卒 ◆米国サウスカロライナ大学理学部生物学科卒
 - ◆バイオベンチャー、製薬企業の医薬品研究開発職から港区議会議員へ。現在2期目。
 - ◆港区議会自民党議員団 副幹事長・保健福祉常任委員会 副委員長
- 〒106-0047 港区南麻布1-4-21-601



明治5年(1872年)に完成の高輪築堤



小倉りえこウェブサイト



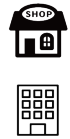
YouTubeチャンネル

世帯や個人向け



	対象	問い合わせ先
国民健康保険料の減免		国保年金課 資格保険料係 03-3578-2574・2575
国民年金保険料の免除・猶予	コロナの影響で収入が減少した方	国保年金課 国民年金係 03-3578-2661
介護保険料の減免		介護保険課 介護収納相談担当 03-3578-2896
特別区民税等徴収猶予の特例	一時的に納付できないと認められる場合	税務課 納税促進係 03-3578-2615～2620
住宅確保給付金	休業による収入減で住宅を失うおそれがある方	港区 生活・就労支援センター 03-5114-8826 相談コールセンター 0120-23-5572

事業者向け



	対象	問い合わせ先
感染症対応融資（全国制度）	融資額4,000万円以内	東京都 産業労働局 金融部 金融課 03-5320-4877
時短営業に係る協力金	飲食店事業者等	東京都 緊急事態措置等・感染拡大防止協力金相談センター 03-5388-0567
特別融資あっせん	あっせん額500万円以内	港区 産業振興課 経営相談担当 03-3578-2560・2561

濃厚接触者にならないようにしましょう

濃厚接触者とは・・・？

感染した人と「患者が発症した日の前2日から感染した人と最後に接触した日まで（無症状の人は検査日を発症日とする）」マスク等を着用せずに接していた人のことをいいます。
※濃厚接触者は、保健所の総合的な判断により確定します。

濃厚接触者となりやすい状況

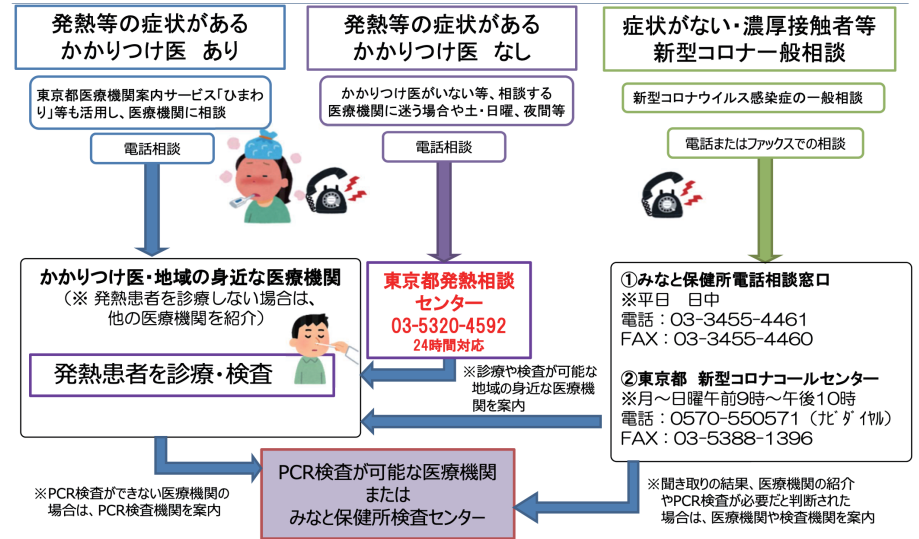


※フェイスシールドやマウスシールドは、マスクの代わりにはなりません。

濃厚接触者は、感染した人と最後に接触した日から2週間の健康観察と自宅待機をお願いされることとなります。PCR検査が陰性でも『2週間は自宅待機のまま』です。

相談窓口

ストレス等の心の相談サポートダイヤル（区内在住・在勤・在学者向け）
平日午前9時～午後5時 03-5333-3808



自宅療養される場合



港区では、ご自身または同居のご家族がご自宅で療養した場合のリーフレットを作成しています。

ご自宅での6つのすごし方 ～療養者のみなさまへ～

- 栄養をとり、ゆっくり休みましょう。
- 他の人と会話するときはマスクをつけましょう。
- 他の人となるべく別の部屋、距離をとってすごしましょう。
- 部屋のゴミは袋の口をしぼってから出しましょう。
- 洗濯する衣類やシーツは小さくまとめておきましょう。
- シャワーや入浴は一番最後がおすすめです。先に使った場合は浴室用洗剤で洗えば大丈夫です。

ご自宅での6つのすごし方 ～療養者と同居される方へ～

※自宅療養の方と一緒に生活する方は、濃厚接触者となります。保健所から健康観察期間についてのお知らせをさせていただきます。

- 療養者の方の世話をする人をなるべく少なくしましょう（妊婦さん以外、持病のない人が理想的です）。
- 療養者の方と会話するときはマスクをつけましょう。
- 療養者の方の人の部屋に入ったり、お話をした後は手洗いやアルコール消毒をしましょう。
- 療養者の方の食器や衣類はいつもどおりに洗って大丈夫です。終わったあとに手を洗いましょう。
- 療養者の方のゴミを出したあとは手を洗いましょう。
- 療養者の方をお世話している人に熱・咳などの症状が出た場合は、かかりつけ医に相談しましょう。